

# IFAC理事会ニューヨーク 会議報告

2015年3月5日から6日にかけて、国際会計士連盟（IFAC）理事会がIFAC本部（ニューヨーク）において開催された。理事会には、会長を含む23名中21名（カナダと中国が欠席）の理事会メンバー<sup>1</sup>及びテクニカル・アドバイザー等が参加し、日本からは海野 正専務理事（テクニカル・アドバイザー）及び筆者が出席した。以下、理事会の概要等を報告する。

## 1 2014年度財務諸表の承認

IFACの2014年度の監査済み財務諸表が提出され、承認された。総収入は前年度比6.1%増の29.6百万米ドル（2013年度：27.9百万米ドル）で、収支は若干、剰余が生じた。

## 2 CEOからの報告

CEOから前回理事会以降のIFACの活動についての報告があり、国際公会計基準審議会（IPSASB）のガバナンス・レビューについてアップデートされた。

現在、IPSASBは、国際通貨基金（IMF）、世界銀行（WB）、経済協力

開発機構（OECD）、証券監督者国際機構（IOSCO）といった国際的組織によって、基準設定主体としてのガバナンス（モニタリング及び監視体制の整備）に関する見直しが行われており、2014年1月公表のコンサルテーション・ペーパーに対する意見を受けた検討の結果、他の基準審議会における公益監視委員会（PIOB）に相当する新しい組織、公益委員会（PIC）を設けることとし、IFACの指揮下にある体制は維持されることで意見がまとまったとの報告があった。

なお、日本公認会計士協会は上記のコンサルテーション・ペーパーに対する意見を2014年4月に提出しているが、コンサルテーション・ペーパーで示された4つのアプローチの選択肢のうち、日本公認会計士協会が望ましいと回答したアプローチが採用されることとなった。

## 3 IFRS財団との覚書の承認

現在、IFACは国際会計基準審議会（IASB）と、相互理解、共通の取組みの強化などを目的として覚書を締結しているが、2014年12月31日

までに両者により見直しされることと規定されているため、両者で検討の結果、このたび、覚書の改定案が提出され、承認された。

覚書は、IFACとIFRS財団との関係を強化し、共同調査研究プロジェクトを実施することを可能にし、国際財務報告基準（IFRS）の適用促進について協力することを目的としたものである。

主な変更としては、以下の2つである。

- 覚書の当事者としてはIFRS財団が当事者となるのが標準的実務であるとのことから、当事者をIASBからIFRS財団に変更された。
- 現在の覚書には、IASBがIPSASBへの協力することが含まれているが、国際会計基準設定の組織及びガバナンスが見直されている状況であるため、IPSASBや国際公会計基準を特定した協力ではなく、より高いレベルで、公共の利益に資するという観点で変更された。

## 4 IFACの2016年－2018年戦略計画

IFACは現在、2013年－2016年の戦略的計画に基づいて活動している

が、会長及び次の会長候補である副会長の各々の在任期間が2年であり、会長・副会長が戦略的計画策定に関与して実施するというサイクルと時間的なズレが生じている。それを調整するために、2016年-2018年の期間で計画立案することとなった。

IFAC理事会に先立つ2015年3月2日から3日にかけて、IFAC加盟団体のCEOが参加するCEOフォーラムが開催され、IFACの戦略的計画立案において検討されるべき事項に関する意見を収集し、さらに、理事会では、理事会メンバー及びテクニカル・アドバイザーを4組の小グループに分けて議論し、それぞれからの意見を集めた。注力すべき重要なエリアとして意見が多かったのは、ステーク・ホルダーとの関係強化、加盟団体がステーク・ホルダーとの関係強化を支援するIFACブランドの活用、規制当局等や市場から基準設定プロセスの信頼性を失うリスク、過剰規制への対応、職業会計士としての魅力とその維持への対応などについてであった。

これらの意見を受けて、次回6月の理事会で計画の一次案が検討される予定である。

## 5 南アフリカ団体代表の理事会メンバーの交代の承認

南アフリカ団体代表の理事会メンバーが業務上の理由により辞任したことに伴い、南アフリカ団体により代替する新たな代表が推薦され、指名委員会の承認を経て、理事会にて承認された。辞任した理事会メンバーの任期が2015年末までであったため、代替メンバーの任期も2015年末まで、2016年の理事会メンバー交代・再任の指名プロセスにのることにな

る。承認された理事会メンバーは、最高会計検査機関国際組織（INTOSAI）の議長を務めた経験のある、南アフリカ勅許会計士協会のCEOである。

## 6 その他

今回の理事会は、2015年6月11日～12日にワシントンD.C.で開催される予定である。

### 〈注〉

- 1 日本、米国（会長のほか1名）、カナダ（1団体から2名）、フランス、ドイツ、英国（英国勅許公共財務会計士協会及びスコットランド勅許会計士協会代表）、アイルランド、ノルウェー（北欧諸国代表）、ポーランド（英国勅許公認会計士協会代表）、オーストラリア（2団体から2名）、インド、中国、香港、韓国、インドネシア、トルコ、ブラジル、南アフリカ、ナイジェリア、ジャマイカの各団体の代表から構成される。

### 〈略語一覧〉

- 国際会計士連盟（IFAC：International Federation of Accountants）
- 国際公会計基準審議会（IPSASB：International Public Sector Accounting Standards Board）
- 国際通貨基金（IMF：International Monetary Fund）
- 世界銀行（WB：World Bank）
- 経済協力開発機構（OECD：Organisation for Economic Cooperation and Development）
- 証券監督者国際機構（IOSCO：

- International Organization of Securities Commissions）
- 公益監視委員会（PIOB：Public Interest Oversight Board）
- 公益委員会（PIC：Public Interest Committee）
- 国際会計基準審議会（IASB：International Accounting Standards Board）
- 国際財務報告基準（IFRS：International Financial Reporting Standards）
- 最高会計検査機関国際組織（INTOSAI：International Organization of Supreme Audit Institutions）

（IFAC理事会ボード・メンバー  
染葉真史）